



2025年10月～12月

が寄与して、上半期として初めて200万人を突破し、3年連続で最多を更新した。（同10.5%増）と、客数・増加率とともに大きかった。24年6月の「神戸須磨シーウールド」のオープンなどが寄与した。県内観光消費額は1兆5059億円となり、これをもとに推計した経済波及効果は2兆2486億円であった。

11／4 兵庫県 外国人雇用の認定制度創設

兵庫県は、県内に本社がある中小企業を対象に、外国人が働く環境が整った企業を認定する「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度」を創設した。認定期間は3年間（更新あり）で、県ホームページで企業名を公表する。

10／7 上半期 県内の倒産 20.9%増 306件

帝国データバンク神戸支店によると、県内企業の25年度上半期（4～9月）の倒産件数は306件（前年同期比20.9%増）、負債総額は225億5100万円（同5.8%増）といずれも増加した。倒産要因別では販売不振などの不況型倒産が280件と全体の91.5%を占めた。

10／7 世界港湾会議（神戸）44年ぶり日本開催

10月7～9日の3日間、神戸市で世界の港湾関係者が一堂に会する「2025年世界港湾会議」が開催された。「激動の時代における改革と繁栄」というテーマを中心に基調講演、分科会、施設見学があり、さまざまなトピックについて議論が交わされた。

10／27 神戸空港 上半期 初の200万人超え

関西エアポートは、神戸空港の25年度上半期（4～9月）の旅客数が211万8434人（速報値、前年同期比16%増）だったと発表した。4月の国際チャーター便の就航

11／7 国産マッチ150年記念式典 神戸で開催

日本燃寸工業会は、1875（明治8）年に東京でマッチの生産が始まつて以来150年を迎えたことを記念し、神戸市内で式典を開催した。県内のマッチ生産の国内シェアは約8割であり、地場産業の一つとされている。

11／25 新築マンションの短期売買 兵庫県7.1%

国土交通省は、新築マンションの取引実態の調査結果を初めて公表した。2024年1～6月に保存登記された新築マンションのうち、短期売買（1年内に移転登記）された物件の割合をみると、兵庫県は7.1%であり、三大都市圏の中では、東京都の8.5%に次いで高かった。

12／9 県内観光客 1億2529万人

兵庫県の観光客動態調査（速報）によるところ、24年度に県内を訪れた観光客数は1億2529万人（前年度比2.4%増）であつた。地域別では、神戸市が2924万人

12／11 県内企業の景況判断「下降」超

神戸財務事務所の県内法人企業景気予測調査によると、10～12月期の全産業の景況判断指数（BSI）は前期比4.3ポイント悪化のマイナス8.4と、8四半期連続で「下降」超となっている。

12／15 日銀短観 4ポイント改善

日銀神戸支店の県内短観は、業況判断指数（D I）が全産業でプラス19となり、9月の前回調査比4ポイント改善した。業種別では、製造業が同2ポイント改善のプラス15、非製造業が同7ポイント改善のプラス24であった。